

## がん 龕ゴウ祭



昭和63年に行われた龕ゴウ祭



ミチズネーの状況

字高安の龕ゴウ祭は12年に1度の辰年の旧暦8月9日に古くから伝わる「龕」の修復も兼ねて区民の無病息災<sup>むびょうそくさい</sup>及び豊年を祈願する祭りです。

龕とは葬式の際に棺をいれる屋形の担ぎ輿のことをいい、字高安の龕は250年～300年前から引き継がれてきましたが、先の大戦によって焼失したために、1952年（昭和27年）に再建され、1964年（昭和39年）、1976年（昭和51年）、1988年（昭和63年）と戦後は4回の龕ゴウ祭が行なわれ次回は2000年（平成12年）の予定です。

祭りの時は龕の霊を鎮め、字内の悪霊を追い払うために男性は勇壮な棒術や空手で氣勢をあげ女性は賑やかに踊ります。また、龕を納めるためのミチズネーは長寿の方々を先頭にし、字内の辻々で龕やヤリ、ナギナタ等を高くかけ氣勢をあげます。